様式9（添付1－4）

平成28年度　帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業
（Ⅱ　定住外国人の子供の就学促進事業）
事業内容報告書の概要

都道府県・市区町村・協議会名【　伊勢崎市　】

平成28年度に実施した取組の内容及び成果と課題

1．事業の実施体制

伊勢崎市教育委員会 ―業務委託→ 特定非営利活動法人　Jコミュニケーション

特定非営利活動法人　Jコミュニケーション
概　要　在日している外国人及びその家族に対して、日本語教育を行い、日本での生活をよりよいものとなるよう手助けをし、日本人と外国人の双方がより豊かで共生できる地域社会の実現に寄与することを目的として活動している。

2．具体の取組内容

①不就学等の外国人の子供に係る学校等との連絡調整

NPO法人Jコミュニケーションに委託し、子ども日本語教室未来塾（以下、「未来塾」という）に通う外国人の児童生徒の未来塾での様子や日本語指導、教科指導等の内容について、児童生徒の在籍校へ報告した。

未来塾と教育委員会及び各在籍校との連携により、個々の実態に応じた支援体制の整備と適応指導の充実を図った。また、「支援報告書」を教育委員会経由で在籍校へ報告し、在籍校からのコメントを委託先へフィードバックした。

②学校外における、不就学等の外国人の子供に対する日本語、教科若しくは母語指導又は学習習慣の確保に係る指導のための教室の開設

本市の小中学校に在籍している外国人の児童生徒で、本人と保護者が希望する者、または、学校が特に支援が必要と考え未来塾への参加を勧めた者を対象に、学校と連携した支援を行い、日本語力と学力の向上を目指した。

小学生は基礎学力の向上を、中学生は学力だけでなく進学支援も実施した。

●未来塾小学生クラス
参加人数　延べ585人
日時　土曜日2時間（午前9時30分～11時30分）
実施回数　40回
会場　本町教室　及び　絣の郷教室
支援員　延べ395人（10人×39回、9/24のみ5人×1回）

●未来塾サマースクール（交流、ワークショップを実施）
参加人数　延べ35人　（小学生クラス在籍者）
日時　夏季休業期間の土曜日3時間（午前9時～正午）
実施回数　3回
会場　絣の郷教室
支援員　延べ30人　（10人×3回）

●未来塾中学生クラス

参加人数	延べ 344 人
日時	土曜日 2 時間（午後 1 時 30 分～3 時 30 分）
実施回数	43 回
会場	本町教室
支援員	延べ263人 （6人×42回、9/24のみ11人×1回）

3. 成果と課題

今年度から伊勢崎市の委託事業として委託契約をスタートしたことにより、教育委員会、学校及び委託先（NPO法人 Jコミュニケーション）とが、情報共有しやすい環境に整備されてきている。従前は、学校外での学習支援の様子について、把握することが困難であったが、本委託事業により支援の内容を教育委員会、学校及び委託先の3者で共有できる点においては、大きな成果となっている。

支援が特に必要な児童生徒には1対1で支援に当たり、初期指導の児童生徒には母語での支援を行うことができた。また、高学年の難しい学習内容の指導についても母語で指導し、さらに、保護者への通訳についても対応し、きめ細かな支援をすることができた。

目標を明確にした指導計画の下で各学校と同一歩調で指導する体制を構築していくとよいのではないか。本年度は初年度であり、連携づくり等に課題があるため、教育委員会、学校、NPO法人が連携し補完し合う実効性のある形を築いていきたい。

4. その他（今後の取組等）

日本語指導を必要とする児童生徒の学習に際しては、日本語指導並びに教科指導が必要であり、日本語教室や各校の入り込み指導の中では、在籍学級での通常の授業への参加を目指した指導をしている。各学校の指導と日本語教室・未来塾の指導を、即時的且つ適時的な指導とするために、情報交換や情報共有の在り方を、さらに模索していけるとよい。

日本語指導を必要とする児童生徒の学校への早期且つスムースな適応のため、編入前であっても、児童生徒のニーズに応じて日本語指導を開始し、計画的に指導することが望まれる。

※　枠は適宜広げること。（複数ページになっても差し支えない。）